



杉並

区労連便り

杉並区労働組合総連合

2024. 1. 25 (木)

TEL FAX 5941-5332

平和は 私たちの願い

2024年

軍拡より福祉とくらし

年頭挨拶

要求で団結、組合員を拡大して、
24春闘を意気高くたたかおう

杉並区労連議長 高田勝善

杉並区労連加盟の組合員の皆さん、
新年おめでとうございます。

今年は、1月1日に能登半島地震が発生し、日本中に激震が走り、羽田空港では1月2日にJAL機と国土交通省の海上保安庁の航空機が衝突し炎上しました。幸いJAL機の乗員、乗客全員が脱出できました。海上保安庁の航空機の乗員は犠牲になりました。

能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福と、被災者の方々にお見舞いを申し上げます。

今年は、1月9日の早朝、荻窪駅北口で新型コロナウイルスが蔓延し中断していた春闘宣伝を3年ぶりに行いました。40年ぶりの物価高騰が昨年の賃上げ分を大きく上回り、30年連続賃金が上がらない国になってしまいました、昨年の東京の最低賃金が時給1113円になりましたが、生計費に追いついていません。今年こそ物価高騰に見合う大幅な賃上げが求められています。

海外に目を向けると、ロシアによるウ

クライナ侵略戦争は、2年目を迎えます。さらに昨年の中東パレスチナ・ガザ地区へのイスラエルの軍事作戦。2地域の惨状を見ると、心が痛みます。

戦争には大義などありません。人命を奪う「戦争」の即時停戦の声をあげましょう。そして、今政府が進めている軍拡路線をやめさせましょう。

能登半島地震では、志賀原発は、震度7を観測し、外部電源の変圧器の絶縁油が大量に流出して、3機のうち2機が破損し、予備のディーゼル発電機で、核燃料の冷却を行っているとされています。地震大国日本では、原子力発電所は廃炉しかありません。

24春闘で大幅賃上げを目指すために、労働組合のバージョンアップが求められています。仲間でも要求を話し合い、要求で団結。組合員の拡大が必要です。

杉並区労連は、地域の組合の連合体として、杉並区内の労働組合と連帯し、あらゆる要求実現に向けて、共同していきます。

今年もよろしくお願ひします。

さあ、24春闘!



1月9日(火)荻窪駅北口。朝の出勤やお出かけで駅を利用される皆さんに、東京都の最低賃金改定のお知らせをしました。そして、春闘で物価高騰に見合う大幅賃上げを勝ち取ろうと呼びかけました。



12月22日(金) 師走の寒風の中、JAL不当解雇に対し、13年間も闘い続けている仲間を支援する集会が持たれ、1,000人に及ぶ参加者が結集しました。区労連からも代表3人が参加しました。



どうする都政 変えよう 東京

1月24日夜、中野ゼロホールでおこなわれた『どうする東京 変えよう都政』。冒頭、五十嵐仁さんは、「公共を取り戻す、都民要求に寄り添って、金権腐敗政治を東京から変えていこう」と挨拶。宇都宮健児さんも登壇。野党の国会議員も出席。野党統一候補の擁立が急がれます。

(写真は東京地評)